

はじめての 18歳選挙

少子高齢化や人口減少社会を迎えている日本社会。この状況で未来の日本を担う10代にも、より政治に参画してもらいたいということから、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。若者の声が政治に届くよう、社会の担い手の意識をもって、主体的に政治に関わっていくことが望まれます。



皆野町でも、今回の参議院議員通常選挙において、18歳・19歳の初めての投票が行われました。

18歳で投票した、県立皆野高等学校の野口典也さんは、「選挙権を得たことで、政治に対して関心を持つようになった。」

と心強く頼もしい感想を語ってくれました。

期日前投票では

18歳の投票立会人が活躍

投票立会人は、投票が公正に行われているかチェックする非常に重要な仕事です。

今回の選挙権年齢の改正で、18歳・19歳のかたが、投票立会人になることができるようになりました。

町選挙管理委員会は、若者に選挙への関心を持ってもらうと、皆野高校の5人の生徒に土・日曜日の期日前投票の立会人をお願いをしました。

6月25日(土)26日(日)・7月2日(土)の期日前投票で立会人をした生徒の皆さんは、緊張した様子ではありましたが、投票所開所時の投票箱の確認や、投票を見守っていただき、しっかり立会人の職務を努めていただきました。

立会人を経験して皆野高校の生徒のみなさんは、「選挙を身近に感じる事ができた。」と話してくれました。



田中 杏珠 さん



飯田 朋也 さん(左) 野口 典也 さん(右)



岩上 真奈 さん(左) 村田 彩香 さん(右)